

## 天然記念物にこの仕打ち！

### 香川県の屋島印バケツトートを販売開始

雑貨等の企画・制作・販売を行っている悪G堂は香川県高松市にある「道の駅 源平の里 むれ」とコラボレーションで「リアルバケツトート・ヤシバケ」を制作。2015年7月4日「道の駅 源平の里 むれ」より限定で販売を開始しました。

報道機関各位

プレスリリース 2015年7月6日

悪G堂（東京都台東区 代表：水谷研吾）は、道の駅源平の里むれ（香川県高松市 代表：難波広孝）との「銀バケコラボ第二弾」として、香川が誇る天然記念物「屋島」をモチーフにしたバケツ型トートバッグを制作、7月4日より、道の駅源平の里むれ限定で発売を開始しました。

#### ■屋島とは

1934年(昭和9年)3月に、国立公園として国内初の瀬戸内海国立公園に指定され、同年11月に屋島全域が国の天然記念物に指定されました。更に源平合戦・四国八十八ヶ所霊場の屋島寺などでも有名ですが、うどんだけじゃないグレートネイチャー香川県は意外と知られていない。

#### ■なぜ作ったのか

今、その「屋島」を訪れる観光客の減少に伴い地域の元気がなくなりつつあり、その活気を取り戻すため、難波氏が地元でも更に屋島を再発見できるような素材を探していた所、悪G堂のリアルバケツトートの存在を知り、コラボレーションの企画が実現しました。

#### ■デザイン

・悪G堂のリアルバケツトートをベースに懐かしい昭和の年期が入った銀色バケツを染色プリントで再現したデザインで型からオリジナルで設計したバケツ感。

・屋島の自然と日本の原風景が重なるような「昭和の絵葉書」をイメージしたラベル。

・屋島天然記念物広報部マークをバックプリントしました。「屋島」「ミサゴ」「オリーブ」が瀬戸内の波と一体化しているイメージです。

※屋島天然記念物広報部は、屋島と東京の悪ガキが志高く起ち上げた部署です。

※ミサゴは、魚を主食として日本各地の海岸部に生息していますが、国及び香川県のレッドデータブックでは準絶滅危惧種とされている希少な野鳥です。屋島にはミサゴが多く生息しており、春から夏にかけて子育ての様子を山上や山麓から観察することができます。

・ 染色から縫製に至まで、すべて国内生産で、プリントは染色堅牢度の高い反応染色で、ほとんど色落ちも移染などありません。

型のハリを持たせるために、表面上には綿の風合いを残しつつ樹脂コーティングを施しております。

・ 内側にはポケットが付き使いやすさも考慮しています。

### ■仕様

◎原材料：綿：11号帆布（表面樹脂加工）

◎色：銀バケ

◎サイズ：高さ29cm×幅35cm 容量：約14リットル

◎価格：5,555円（税込）

◎日本製品





【悪G堂】

クラスに必ず一人はいた愛すべき悪ガキがそのまま大人になったら作るモノをテーマに展開。「大人のランドセル」、「山谷デイバック」、「紙袋トート」など独自の昭和な目線で商品開発を続けています。

<http://www.akujidou.com/>

【道の駅源平の里むれ】

香川県高松市にある道の駅。ご当地名産品はもとより、独自に開発している「さぬきうどん名刺ケース」、「オリーブ牛バッグ」、「オリーブハマチペンケース」などユニークなオリジナル商品ラインナップで県内外のファンも多い。

<http://www.genpei-mure.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】

企業名：道の駅源平の里むれ

担当者名：川畑恒二郎

TEL：087-845-6080